

朝日夕日でも発電する
AI 太陽光自動追尾式

(土台をつくっておけば、短時間で設置できる)

ツリー型太陽光発電システム

初期の普及御貢献度により
特許対価を分配致します、

市街地の新風物、狭い場所
にて、高効率の発電を行う

ウクライナ復興支援と超強力な輸出産業

特許取得済

2月27日の朝日新聞では「社会保障「国民会議」が始動」「食品消費税ゼロ」「給付付き税額控除」「野党は「みらいのみ」」の見出しで、「社会保障国民会議」の初会合を首相官邸で開催したことを伝えています。

しかしながら、各種補助金や輸出還付金等の「官民連携悪だくみ」を止めるわけではなく、各方面のむしろ必要な予算を少しずつ削減して、絞りだすような感じであれば、焼け石に水、効果的な成果は得られないでしょう。(みらいの安野さんも参加はされますが、国民会議には懐疑的なようです。)

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_5fecla08ec8b45cd841ecdcac34e2199.pdf

しかもここに来て、原発の再稼働も大いに問題ありですが、高度成長時代に造成された各種インフラの老朽化が進み、トンネルや水道管等の大規模な改修費用も必要になってきています。

やはり、日本凋落の要因(補助金のバラマキ政策)を取り除く必要があり、スロー社会の構築で日本経済を活性化させ、加えて、ウクライナへの平和的な支援等の国際的な役割を果たす必要があります。

(スロー社会構築は以下をご参照下さい。)

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_f784604c3444474589b9bfcdcd617958.pdf

ウクライナへの平和的な支援(電力供給)、対中国再エネ戦略(中国系企業による強引な太陽光発電所設置をSTOP)としての役割、カーボンニュートラルの達成に向けてのアクションや強力な輸出産業と位置づけ経済の活性化のために「ツリー型太陽光発電システム」を普及させるべく、関連各省庁や関連企業にお声がけしています。

—————< 関連企業様へのお願い >—————

< ウクライナへの電力供給＝「ツリー型太陽光発電システム」の提供 >
(短時間で設置できる「ツリー型太陽光発電システム」)

「極寒で真っ暗」と各メディアが報じておりますが、ロシアからのドローンやミサイル攻撃で多くの発電所が破壊され、氷点下で暮らすウクライナ国民の窮状を伝えています。

「ツリー型太陽光発電システム」は、関連省庁や自治体の担当者、展示会等での企業のスタッフ等にはとても好評でしたが、中国系の企業への優遇策：(+補助金)により(中国製の太陽光発電システムが売れなくなると困ると考えておられるようで)、日の目を見ることはありませんでした。

しかしながら、ウクライナの国民がとても寒さに困っており、また中国製の太陽光発電システムを駆逐できるチャンスでもあるので、純国産「ツリー型太陽光発電システム」を開発製造し、ウクライナに優先的に輸出をするとともに、国内での電力網を構築する一助となるよう、下記特許対価を分配致しますので、

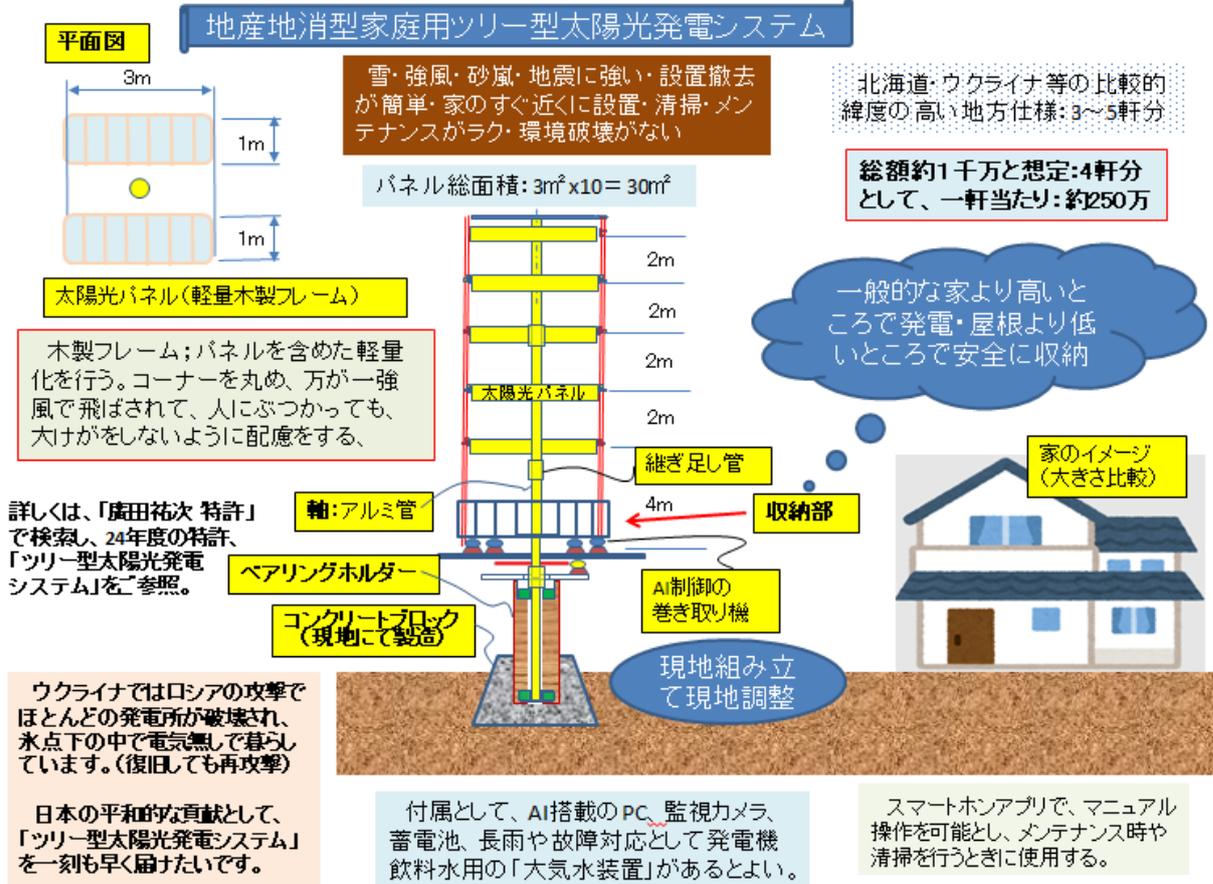
開発・製造・販売・サービスを手掛けていただけないでしょうか？

「ツリー型太陽光発電システム」は、山小屋や離島等では、発電所+送電線を敷くより、はるかにコストが安く、比較的大容量なので、小規模事業+家庭を賄うことができるので、またもし足りなければ設置台数を増やせばよいので、とても大きな需要があると考えています。

<ツリー型太陽光発電システム概要>

複数の太陽光受光パネルを、回転軸の上部に設置された中継プーリーを介して、複数のワイヤーで吊り、巻き取りモーターで該複数のワイヤーの巻取り巻き戻しを行い、該複数の太陽光受光パネルを一斉に太陽に正対させ、モーターで回転軸を回転することで太陽光追尾を行う、ツリー型太陽光発電システムにおいて、併設されたカメラの動画にて、降雪が確認されれば、併設されたAI（コンピューター）が該複数のワイヤーの巻取り・巻き戻しを行い、受光パネルの傾斜を大きく取り（垂直に近づける）、雪が積もらないようにし、また、該カメラ動画にて、木々の揺れの状況から風の強度を知り、AI（コンピューター）が、必要に応じ該複数のワイヤーの巻取り・巻き戻しを行い、全受光パネルを下げて、収納箱に収めるようにする。また吹雪などの場合には、一旦収納箱に収めてしまうので、その上に積雪の可能性はあるが、傾斜を大きく取りながら受光パネルをゆっくり上げることで雪を落とすことができるようにする。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_8110ef137b0841eba07529ac802dc09e.pdf



(主な特徴)

設置が容易：基本的には工場でパーツを作り、トラックで運び、あらかじめコンクリートの土台を作っておくと、短時間で設置・調整ができる。
豪雪地帯で活躍：太陽光パネルの雪を落とすことができる。(豪雪地帯仕様)
強風に強い：強風の際は、全体を下側に下げて収納する。(AIの自動管理)
場所をとらない：家の中庭や空き地などに設置や撤去が簡単に行える。
飲料水も確保：大気水製造機を設置すれば、清潔な飲料水も確保される。

従来太陽光受光パネルの設置が難しいと言われている豪雪地帯でも、該太陽光受光パネル上の積雪を避け、あるいは収納時の該太陽光受光パネルの上に積雪があっても、雪を落とし、発電を行うことができるようになる。

災害時、停電と断水が起きても、空気から水を取り出す「無限水」(電力が必要)との組み合わせで、電気と飲料水とを供給し、素早い一時しのぎと恒久的に住める(電気代が安い)ものになります。

<ツリー型太陽光発電システム特許概要>

https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7486247

同時にカーボンニュートラル達成するためにも、ぜひ、純国産の再エネ機器「ツリー型太陽光発電システム」の開発にご協力をお願い致します。

(2040年頃までに世界のカーボンニュートラル達成のシナリオ)

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf

(関連特許)

1. スロー社会(誰でもが幸せになれる社会・低速自動運転車社会・移動社会)
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7595386

2. 2040年までに世界のカーボンニュートラル達成(環境にやさしく低コスト)
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7675467
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7655605
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7199129

いずれの特許も世界を大きくリードした画期的な技術内容です。

高市総理の号令の下、全閣僚・関連各省庁、ご貢献が可能なありとあらゆる製造業者が一丸となってお取組をお願い致します。

下記のような「官民連携バリウスリンク会議」を検討しております。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_041477fa6f8547c58693e882a9706360.pdf

ご連絡をお待ちしております。

純国産(中国の技術を凌駕)